

海外留学(短期プログラム)参加報告書

所属: 法政経学部法政経学科

プログラム名: 2019 Chinese Learning Program in summer, Taiwan

留学期間: 2019/8/12-8/25

私は今夏、台湾中央大学で行われた 2 週間の文化体験プログラムに参加させていただきました。少しでも中国語の力を伸ばすためにとりあえず中国語圏に身を置いてみよう、と参加を決意したのですが、非常に有意義な時間を過ごせたように思います。当プログラムには十数人の日本人が参加し、月曜日から木曜日までが中国語の授業、金曜日が Field Trip、週末は Free Day、というスケジュールで実施されました。

授業は参加者をレベルに応じて 2 つにクラス分けして行われます。私は上級クラスの授業に参加しました。授業は 9:00-12:00, 14:00-17:00 の計 6 時間にわたり、午前中はテキストを用いたいわゆる語学の授業、午後は台湾の伝統文化についての授業です。先生は時に英語も使いますが、基本的に中国語で解説するので、正直初日は先生の説明の 3 割も理解できず、話についていけない周囲との差に焦ったりもしましたが、日に日に耳が中国語に慣れ、プログラム終盤になるにつれて大まかな意味は掴めるようになりました。参加者の中には中国語にはほぼ触れたことがない方もいらっしゃいましたが、日本語の話せるスタッフもサポートしてくださるので、語学力に関してはあまり心配せずに参加することができます。

金曜日の Field Trip では、九份や竜山寺、故宮博物館などを案内していただき、台湾を満喫しました。日本語の話せるガイドさんが時代背景などについて説明してくださり、中華圏の文化の良い勉強にもなりました。

週末は参加者がそれぞれ複数人のグループに分かれて行動することが多く、各々台湾観光を楽しんでいました。親切な現地の学生さんが一日台北を案内してくださるなど、台湾の人がとても親切だったこともあり、つたない中国語でもなんとか自分たちだけで観光ができました。観光地では日本語が少し通じたり、日本語のメニューを用意しているお店も多いですので、気軽に遊びに行けるかと思います。

さて、プログラム中はゲストハウスに 2 人 1 部屋で宿泊し、食事は基本外食する、という生活を送ります。ゲストハウスには洗濯機と乾燥機があり、空調、ドライヤー、wi-fi なども完備なので、比較的快適に過ごせます。台湾は外食文化の国なので、手ごろで美味しいレストランが大学の近くにたくさんあり、日に 1000 円ほどでしっかり 3 食べられます。プログラム序盤は現地の Student Assistant さんにおすすめのお店に連れて行ってもらい、注文の仕方も教わりました。SA さんとの会話は基本的に英語で、時々中国語や日本語も混ざります。予定が合えば週末に街を案内してもらったりと、とても親切にしてもらいました。

(だからこそ日本からお土産を持っていけばよかったな、というのが唯一の後悔だったりします)。何より、日本各地から NCU に集まった参加者の方々とたくさんお話しする中で、私ももっと頑張ろう、と刺激を受けました。全く繋がり無かった方々と 2 週間過ごす、というのなかなか珍しい経験で、新鮮でした。語学力が伸びただけでなく、自分の世界観も広がり、本当に良い経験になったと思います。中国語に少しでも興味のある方は、あまり気負わず、迷ったら参加してみてください。